

神戸市会議員
(垂水区)

川内 きよなお

市会報告

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町1-2-10
TEL : 080-6175-4877
E-mail : bucfq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

令和5年9月議会（9月14日～10月24日）が閉会

この度の9月議会では、令和4年度の神戸市各会計決算を審議しました。令和4年度の一般会計決算は、社会保障関係経費や投資的経費が増加した一方、「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、11億2,700万円

の黒字を確保したこと、また、新型コロナウイルスが収束しない中にありながら、ほぼ予算通りに事務事業が達成できたことを評価して、令和4年度神戸市各会計決算及び関連議案合計24件を認定・承認しました。

決算特別委員会



第1分科会で質問

私は、第1分科会に所属し、(地域協働局) (都市局) (建築住宅局) (交通局) に対して質問しました。その中から都市局に対しての質問をご報告いたします。

都市局 垂水駅前再整備にかかる交通安全対策について

Q 川内議員 垂水小学校南西側に位置する南北道路「銀座通り」の交通規制を北側向き一方通行を南側向き一方通行に変更するとともに、自動車の通行禁止時間をなくす提案をしたと聞いている。

南北道路である「銀座通り」の南端部が接続する垂水駅前北側の東西道路は2号線に出るために右左折する通過交通が非常に多く、朝の通勤・通学時間帯には、国道2号方面から通学する多くの垂水小学校の児童生徒が登校していることや垂水駅へ通勤・通学する歩行者の交通量が多いこともあり、現在も危険な状況である。「銀座通り」を南進に変更することで、駅前交差点付近においては、更なる交通量の増加が予想され、児童・高齢者など歩行者の安全が確保できるのか懸念していたところである。神戸市の提案した交通規制の変更の提案は新聞紙上では「案は白紙」との記載であったが当局の考えはどうか伺いたい。



駅前南から北へ

A 副局長 「沿道から反対署名が出されている状況で交通規制の変更は出来ない」と判断している。引き続き、地域住民と共に交通対策の必要性について検討を行いたい。

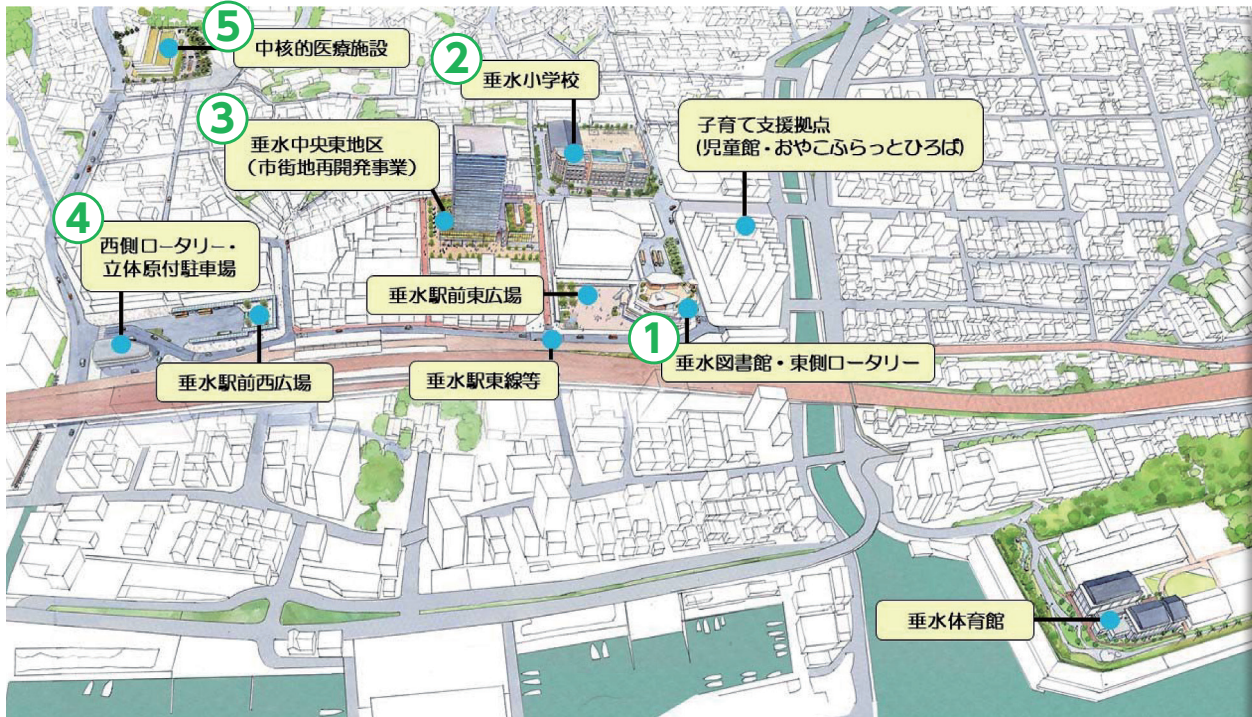
Q 川内議員 垂水小学校南東交差点を誤って西進してしまい、小学校南西交差点で時間規制の通行止めのため、Uターンしている車をよく見かける。小学校近くであることから、児童に危険が及ぶことのないよう早急な対策が必要と考えるが？



垂水小学校前南西交差点

A 副局長 垂水小学校南東交差点に入る前に、注意喚起するなど、この件に関しては早急に対策する。

垂水駅前再開発



垂水活性化プラン

- ①新垂水図書館**
地下1階・地上4階（1階ロータリー）
蔵書数12万冊（現8万5千冊）
- ②垂水小学校**
地上5階
教室数28教室（現21教室）
- ③垂水中央東地区市街地再開発事業**
地上32階（戸数 315戸）
- ④西側ロータリー・立体原付駐車場**
1階：一般車ロータリー、原付専用駐輪場
2～3階：原付専用駐輪場
- ⑤中核的医療施設**
産科・小児救急を含めた救急機能を持つ急性期病院

「こべっこ発達専門チーム」によるモデル事業開始（令和5年10月から）

私は、令和4年11月議会において、こどもの発達に関する相談窓口の待機期間が長すぎるについて、下記の内容の質問（背景）をしました。久元市長からは、前向きに検討していきたい旨の答弁があり、令和5年度の予算に反映出来ました。

1 背景

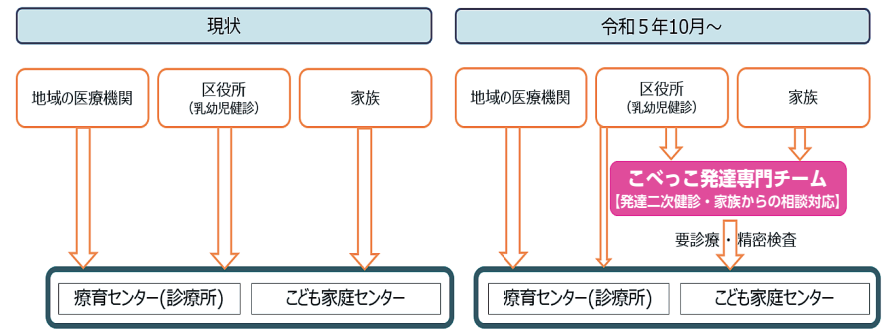
- ・発達障害に対する社会の理解が広がり、こども家庭センターでの相談・検査、療育センター診療所での診察・訓練等、専門機関の利用を希望される保護者が増加している。
- ・そのため、こども家庭センターや療育センター診療所の待機期間が長期化しており、抜本的な対策が求められている。

2 事業の概要

子どもの発達相談支援体制を充実させ、早期に診察や検査を受けられるように、医師・保健師・心理士・福祉の専門職で構成する「こべっこ発達専門チーム」（以下、専門チーム）を令和5年4月に発足した。

待機期間が長期化している西部療育センター診療所の担当区域である垂水区・西区において、未就学児を対象としたモデル事業とし

て、①乳幼児健診後の発達二次健診 ②家族相談を本年10月から開始する。



3 期待する効果

- ・子どもの成長や発達が気になる家族からの相談に対し、**専門チームが対応**することで家族の不安や悩みを軽減し、適切な支援先へ早期につながるができる。
- ・専門チームで得られる知見やノウハウを全市展開することで、地域の関係機関の対応力が上がり、市民がより身近な地域で相談や支援を受けることができるようになる。

通院医療費助成の対象を**高校生**まで拡大します

- すべての高校生世代が対象
- 1回400円、月3回目からは無料
- 入院は無料

子ども医療費助成合計
 (1年間で53.5億円)
 ※内高校生世代の通院医療費助成 (8.6億円)



自己負担額（令和5年10月～）

対象	通院	入院
0歳～2歳	自己負担なし	無料
3歳～ 高校生	1日最大400円を月2回まで* (3回目以降は無料)	

※医療機関や薬局ごとに上限額が適用されます。

★今後は3歳～高校生世代までの通院の助成拡大に向けて意見反映して参ります。

「第30回神戸ルミナリエ」に向けて新たな試み

神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災が発生した1995年に初めて開催されて以来、2019年（第25回）に至るまで、神戸を代表する冬の風物詩として毎年開催されてきました（第26回～28回は新型コロナウイルスの影響により中止し代替事業を実施）。しかし、コロナ前から来場者の過度な集中による諸課題があったことから、**今年度の第29回**ではその解決を図り、来場者の皆さんが安全・安心に楽しんでいただけるよう、下記のとおり新たな試みを行い、その結果を第30回神戸ルミナリエに反映して新しい神戸ルミナリエへとつなげます。我が会派からの意見表明において、「従来の一方通行から周遊型に変わり、自由に散策しやすくなった。この強みを活かし、近隣の飲食店等へ経済効果が波及する仕組みを構築されたい」旨の要望を付しました。



期間 2024年1月19日(金)～1月28日(日) 10日間

会場 ●東遊園地 ●旧外国人居留地 ●メリケンパーク